

# 事務事業評価シート(平成19年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名					
02105	Uターン・Iターン支援事業	まちづくり政策課	まちづくり係	小澤辰一	宮原修二					
		一次評価年月日	平成 20 年 7 月 29 日	連絡先(内線)	2221					
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分				事業コード	事業名(歳出予算見積書)			
		<input checked="" type="checkbox"/>	一般	<input type="checkbox"/>	特別	0207	企画事務			
	<input type="checkbox"/>	一般	<input type="checkbox"/>	特別		#N/A				
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)		3章	夢のある地域形成				
		節	(コード選択)		2節	農山村地域を活性化する				
		項[基本施策]	(コード選択)		322	集落の環境整備と誘導				
主な取り組み		(コード選択)		3223	Uターン・Iターン・Jターンの誘導・支援					
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/>	第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/>	主要業務報告	<input type="checkbox"/>	その他		
事務期間	(開始)	17 年度	~ (終了予定)		年度	L	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし	

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町を離れて都会に在住している人  
都会に暮らして田舎暮らしを考えている人

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

町への定住人口の増加や交流活動の活性化

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 県及び市町村で構成されている「楽園信州」に参加し積極的なPRを行っていく。
- 空き家情報の管理
- 土地開発公社との連携し住宅地の確保
- 

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)
①	指標名	田舎暮らし「楽園信州」に参加しPR活動を行う。		0	1	1	1
	説明	上記主催のセミナーに参加しPRを行う。(東京等)		目標値設定の根拠 実績値と予算からの実現の可能性から			
②	指標名	空き家情報の管理		0	0	2	4
	説明	町内の空き家数の把握		目標値設定の根拠 過去の実績と問題点を考慮しての数値			

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)
①	指標名	各種セミナーでのヒアリング数		0	5	10	15
	説明	東京等大都市圏でのセミナーへ参加し来場者のヒアリング		目標値設定の根拠 実績値と経験からの数値			
②	指標名	施策によるU・Iターン者数		0	0	0	0
	説明	実際に移住等に結びついた人数		目標値設定の根拠 近隣市町村動向及び問題点からの数値			

## (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	1,510	1,546	1,564	1,564
対前年比		%		102.4	101.2	100
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)						
B) 一般財源(税金)						
①事業費		(千円)	0	0	20	20
対前年比		%		#VALUE!	エラー:503	100
②人件費の概算		(千円)	1,510	1,546	1,544	1,544
対前年比		%		102.4	99.9	100
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費
	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H18 H19 H20 H21	年間人件費
町職員(正規職員)	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.24 0.25 0.25	0.24 0.24 0.25 0.25	1,510 1,546 1,544 1,544
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート				0.00 0.00 0.00	0 0 0 0

指標化

**(6) 項目別評価 [Check]**

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある      B 変化していない C 減少傾向にある      D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある      B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる      D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である      Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している      Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している      A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある →      県の観光部との連携 C 今後可能性はない      町産業振興課との連携
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	A	A アンケートなど具体的な方法で把握している      A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している →      実際にセミナーに参加し参加者の意見を聞いている。 C 把握していない

**(7) 改革改善 [Action]**

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止

**〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)**

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

**(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)**

時期(年度)

**事業改善の経過**

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

漠然とHPでPRLしていただけであったが、19年度2月に東京でのセミナーに参加し参加者の直接の声を聞くことができた。

**事業の方向性の具体化**

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

担当者が積極的に大都市圏に向き積極的にPRすることが大切であり、直接膝をつき合わせてPRすることが大事である。

20年度予算見積書への反映  あり  なし

[反映内容]

セミナーへの参加のための旅費

**(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)**

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

中山間地の活性化策として期待は大きい。受け入れ体制整備のため、住民へのPRを図る。また、都市部への情報発信は県の組織を積極的に活用する。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大       D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止



上記 a~e を選択